

たきかわCS通信

滝川教育委員会 教育総務課 令和元年 11月 15日発行



— 第 14 号 —

～学校支援地域本部事業紹介～

滝川第一小学校 5年生
西小学校 5年生

(地域の企業所, 地域ボランティアの協力)



【実践例紹介】

実りに感謝を込めて 稲刈り体験学習！

今回も、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育くめるよう「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み、「コミュニティ・スクール」の**実践例**を紹介します。

10月2日(水)に、東滝川にあります「山岸 穰様圃場(旧東栄小学校裏)」のご協力で、J Aたきかわ職員の皆様と地域ボランティアの井上正雄氏にご支援・ご協力をいただきながら、今年も**滝川第一小学校と西小学校の5年生が稲刈り体験を実施**しました。お忙しい中、

最高の天気です。
山岸さんの努力も
一緒に刈り取りましょ！

ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

稲刈り当日も、田植えと同様に
大変よいお天気に恵まれました。

9時20分ごろから、三浦拓也コーディネーターの司会により稲刈り作業の説明会が始まりました。



三浦拓也コーディネーター



はじめに、**山岸 穰さん**からお話をいただきました。現在、本日の田んぼの広さであれば、コンバインで5分もあれば刈り取ってしまえるそうです。

しかし、昔の人の苦勞を知るためにも、カマを使って刈り取ることや、稲が実るまでに半年以上の年月がかかっているため、粗末にしないよう、大事に刈り取ってほしい、という内容のお話をいただきました。



4か月天気がよかったので、生長もよく感謝しています。
今日は、昔の人の苦勞を知るためにも、カマを使います。けがをしないように、くれぐれも気を付けてくださいね。



稲刈りも晴天でした！



山岸 穰さん



次に、JAたきかわの山口元気さんから「カマの使い方」について下記の説明がありました。

- 右利きの人は、右にカマ。左に稲を持つ時は、親指が上になるように握る。下にするとカマで親指を切りやすい。
- カマのギザギザ部分はケガをしやすいので気を付ける。
- 手応えを確かめながら、ゴリゴリと刈り取る。草刈りと違うので、スパッと切らない。

など、丁寧に教えていただきました。

いよいよ、稲刈りの始まりです。3人一組で、互いに「はいっ。」と声をかけながら、上手に刈り取っていました。

刈る、受け取る、運ぶという作業を3人一組で行ってください。運ぶときは、こぼすのでたくさん持たないようにしてくださいね。また、運ぶ時、どかが米かよく見ておきましょう。



JAたきかわの山口元気さん

ずっとこの姿勢で刈り取るのは大変！今は楽しいけど、毎日はずらいなあ。



そろそろ運んだほうがいいかな。



上手に刈り取れるようになってきたよ！



みんなで協力して、全部きれいに刈り取るぞお。

美味しいお米になるわ！

実るほど頭を垂れる稲穂かな。



JAたきかわのみなさんと委員会

時間内に全部刈り取るのは無理だろうと思われていましたが、10時50分頃には稲刈りを全て終了。

最後に、山口さんから、「精米したら届けますよ。楽しみに待っていてください。」とのお話がありました。

きっと子どもたちは、お米一粒一粒に農家の皆さんの愛情を感じながら、おいしくいただいたことでしょう。皆様、大変お疲れ様でした！

長靴が埋まって抜けないうちや転んで泥だらけになった子もありましたが、どの子どもたちも終わってみると爽やかな笑顔でした。少々疲れ気味でしたが、達成感で一杯でした。「楽しかった。」の質問にほとんどの子どもが手を挙げていました。



きれいに刈り取り終了